

取締役会の実効性の分析・評価結果の概要

1. 取締役会の実効性に関するアンケートの概要（集計、分析、評価の方法）

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するために、自己評価として全取締役会メンバーに対するアンケートを実施し、当社取締役会の実効性の分析・評価を行いました。

【実施時期】 2024年1月

【回答者】 監査等委員でない取締役9名（うち社外2名）、監査等委員である取締役3名（うち社外2名）合計12名

【内容】 評価方法：無記名式によるアンケート

質問概要：取締役会の構成/運営/議論/モニタリング機能、社外取締役（監査等委員含む）のパフォーマンス、取締役（監査等委員含む）に対する支援体制、トレーニング、株主（投資家）との対話、ご自身の取組み、総括

アンケート結果の集計：外部機関にて取り纏め実施

分析・評価：アンケート結果をもとに、取締役会にて取締役会の実効性についての分析と評価を行うとともに今後の課題について議論

2. 分析評価結果の概要

当社取締役会は、アンケートの分析結果及びそれに関する取締役会での審議に基づき、以下の点について、当社の取締役会はその役割期待を適切に果たし、取締役会の実効性が十分に確保できているものと分析・評価しております。

- （1）取締役会の構成員は、知識・経験・専門性、職歴、年齢、ジェンダー、国際性等の観点で多様性を備えたものとなっていること
 - （2）取締役会資料は、事前の検討が可能となる適切な時期に提供されていること
 - （3）株主（投資家）との対話の状況について、取締役会へのフィードバックがなされていること
- 一方で、今後改善すべき点として以下の点が挙げられました。

- （1）取締役（監査等委員含む）と内部監査部門との連携体制の整備
- （2）監査等委員会による内部統制システムの構築・運営のさらなる深度での監査
- （3）経営陣の報酬制度・報酬額に関する報酬委員会から取締役会への答申内容の充実

3. 今後の対応について

今回の分析評価結果は、2025年3月期の取締役会の運営課題として対応していくと同時に、中長期的な課題について引き続き取締役会で議論していくことと致しました。また、当社取締役会は、取締役会の更なる機能向上を図るべく今後も継続的に取締役会の実効性評価を行っていく予定です。

以上